



香川県教職員連盟機関誌  
発行所：香川県教職員連盟  
発行：安本 薫

〒760-0004  
高松市西宝町2丁目4番60号  
香川県教育会館602号

TEL (087) 835-2721  
FAX (087) 835-2723

http://www.kakyoren.com/  
E-mail: info@kakyoren.com  
毎月10日発行 定価1部50円  
(年間1,000円 送料とも)  
会員の購読費は会費の中を含む



香教連は、結成四十三年を迎えた、子供中心の教育を目指し、健全なる批判力を持つ、県内最大の教職員団体です。

# 第二回会長・事務局長会 第一回執行委員会 開催

六月十七日(土) 九時三十分より、教育会館第一・二会議室において平成二十九年度執行部による第二回会長・事務局長会、第一回執行委員会を開催した。

安本委員長の挨拶の後、新体制になって初めての会長・事務局長会、執行委員会ということもあり、各単組の役員のご自己紹介を行った。その後、北村事務局長より経過報告を行った。



討議の様子



挨拶をする安本委員長

必要性とその方策について議論がなされた。今年度は新規採用者の入会も多く、今後組織の理解を進め、各単組においても更なる拡大を進めていくことを確認した。

また、県教委との勤務交渉の内容検討では、校務支援員の増配置、特別支援教育の更なる充実、土曜日授業の情報交換等、熱心に討議した。討議した内容については、要望書に反映し、県教委に対して、強く要望していくことを確認した。

# 第一回専門部会開催 今年度の活動方針や 要望に向けて熱い議論!

五月に行われた全日本教職員連盟第一回専門部会において、平成二十九年度専門部活動の計画が作られた。全日教連の活動計画を踏まえて、六月十七日(土) 平成二十九年度香教連第一回専門部会を開催した。青年部会、女性教職員部会、養護教諭部会、人事対策部会・講師部会の四部会に加え、本年度より幼児教育部の先生方にも集まっていた。本年度の活動目標や活動内容、要望の重点について熱心に討議した。

## 青年部

青年部では今年度のスポーツ大会の在り方について話し合った。先生方のニーズに合ったもの、参加しやすいものにしていくといった意見が出された。要望については、専科教員や支援員の増員を継続して要望していくこと等、様々な議論がなされた。



## 女性教職員部

女性教職員部では自己紹介の後、今年度の要望事項について話し合った。女性ならではの視点から、トイレや更衣室の整備、育児短時間制度の現状や在り方、多忙感の解消により安心して出産・子育てができるような適切な人員配置の必要性等について話し合われた。

## 養護教諭部

県教委への要望の検討では、健康診断時や養護教諭不在の際の対応の実態から、複数配置基準の緩和、養護教諭の研修制度の充実等について話し合われた。また、今年度の研修についても話し合わせ、専門的な研修を今後も続けていきたいといった意見が出された。



## 幼児教育部

全日教連の専門部会に参加した安富教諭、中川教諭より、内閣府や文部科学省への要望活動についての報告を行った後、今年度の要望活動や研修の充実、待遇の改善等について、議論がなされた。



## 人事対策・講師部

人事対策部・講師部は昨年度の人事異動の成果と課題について話し合った。家庭事情を考慮した配置を引き続き要望していくことを確認した。また講師についても話し合い、複数年、同じ学校に勤務ができるようにして欲しいといった意見も出された。



「七月」夏本番、先生達の準備等々、数え上げればきりが無い。中学校では加えて市町や県の総体が開催されている▲文科省より発表された教員の勤務実態調査の結果や本誌二面に掲載している香教連アンケートの結果からも分かるように、現場では多忙を極めている▲「ワークライフバランス」という言葉をよく耳にするようになった。仕事の責任を果たすとともに家庭や地域生活においても、多様な生き方をしていくことがクローズアップされている▲子供たちのために真摯に教育に取り組んでいる先生方が少しでもワークライフバランスがとれるよう要望を続けていく▲もうすぐ夏休み。ちよつと一息 (薫)